

令和6年度県立八重山商工高等学校【定時制課程】（自己／学校関係者）

評 価 ： 4 段階 【 4：そう思う、 3：やや思う、 2：あまり思わない、 1：そう思わない 】

評価項目	具体的方策	評 価		◎成果	▲課題・◆改善点
		自己	関係者		
教育目標	① 教育目標は生徒や保護者にわかりやすく示している。	4	4	◎地域・保護者との連携による各種行事の実施	▲学校パンフレットの作成 ◆学校 HP の適宜更新
	② 職員は教育目標を意識して日々教育実践に取り組んでいる。	4	4		
学校運営	③ 定時制の特色を生かした学校運営がなされている。	4	4	◎職員研修(4回)、八重山特別支援学校訪問 ◎夏季集中授業の実施、実務代替・技能検定等を生かした単位習得	▲不登校改善に向け、学校・家庭・地域、関係機関による連携強化 ▲ICTを活用した校務改善の研究実践
	④ 基礎学力の定着と個に応じた指導を行っている。	4	4		
	⑤ 生徒の個性を大切にしたインクルーシブ教育が推進されている。	4	4		
	⑥ 不登校・中途退学防止対策の充実が図られている。	3	3.8		
	⑦ 事務の円滑化による校務改善が図られている。	3	3.5		
教科指導	⑧ 生徒の実態に応じた指導方法の研究と工夫改善が行われている。	4	3.6	◎自立活動を起点とした教科指導の展開 ◎検定試験受講生の増加	▲ICTを活用した授業実践 ◆検定資格取得による単位の追加・改定の検討
	⑨ ICT機器・視聴覚機器の活用等、魅力ある授業が展開されている。	3	3		
	⑩ 各種検定・資格取得への意欲を引き出し、個別指導および補習授業等に取り組んでいる。	4	4		
健康安全	⑪ 性・エイズ・薬物乱用防止指導への指導に努めている。	4	3.8	◎親子ふれあい給食(1年)、BBQ(全学年)の実施	◆健康安全に関わる諸課題に応じた講師選考
	⑫ 給食の喫食率を上げるための工夫や取り組みがなされている。	4	3.8		
進路指導	⑬ 生徒や保護者への進路に関する最新情報の提供に努めている。	3	3.4	◎同窓生によるキャリア講演会の実施	▲希望進路の早期決定に向けた取り組みの充実
	⑭ 自己実現に向けた計画的、継続的な進路指導と個別面談、三者面談の充実に取り組んでいる。	3	3.7		
生徒指導	⑮ 交通マナーや事故防止の指導等、地域及び専門機関との連携による安全指導や生徒指導の充実が図られている。	3	3.4	◎八重山警察署職員による新たな交通法講話	▲保護者連携による情報端末のマナー向上の取組強化
	⑯ 勤怠指導、服装容儀、携帯電話のマナー指導等、保護者・地域と連携し改善に取り組んでいる。	2	3.3		

評価項目		具体的方策	評価		◎成果	▲課題・◆改善点
			自己	関係者		
教育相談 中途退学 対策	⑰	生徒が気軽に悩みを相談できる体制と「いじめ」の未然防止、早期発見および組織的な対応が図られている。	4	4	◎教職員、SC、就学継続支援員との連携充実	▲学校いじめ防止委員会の開催及びマニュアルの更新
	⑱	中途退学・不登校・問題行動等の予防や対策につながる組織的な取り組みを行っている。	4	4		
危機管理	⑲	災害等に対する防災訓練、定期的な施設・設備の点検が図られ、安心安全な学校づくりに努めている。	4	3. 4	◎津波・火災避難訓練の実施(2回)	▲防災訓練を通して、危機管理マニュアルの点検及び更新
	⑳	職員室等の整理に努め、PC等の情報管理、公簿は所定の場所で適切に整理・保管されている。	4	4	◎毎月の安全点検実施	
	㉑	法令遵守、服務規律の確保とコンプライアンス研修等の取り組みがある。	4	4		
家庭・地域 との連携	㉒	保護者等への迅速な連絡・連携が図られ、学校の教育活動が適切に説明されている。	4	3. 6	◎保護者参加によるスポーツ大会の開催	▲メール機能を利用した連絡体制の構築
	㉓	家庭や地域、関係機関と連携した人権・平和教育の充実に努めている。	3	3. 6		
その他	㉔	HR・授業・進路指導・部活等でUD(ユニバーサルデザイン)化の推進を図る取り組みがある。	3	3. 8	◎部活動生の増加及び全国大会出場(陸上・卓球)	◆ユニバーサルデザイン化の推進に向けた取組強化
	㉕	生徒会活動、部活動、行事等で学校活性化に取り組んでいる。	4	3. 8		
働き方改革 3軸・6視点	㉖	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。	3	—	◎月80時間以上の超過在校時間勤務者の把握 ◎弁護士を活用した人権講話の実施	◆「私たちのピース・リスト2023」の取組による進捗状況の改善
	㉗	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	3	—		
	㉘	一人一人の生徒との信頼関係を深めることができています。	4	—		
	㉙	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	3	4		
	㉚	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	3	—		